

研究区分：若手研究

新人看護師へのメンタリング機能を用いた職業継続支援

氏名 西川 秋子【所属】成人・老年看護学講座

はじめに

本研究の目的は、新人看護師が就職前後にどのような経験をしたか、特に上司・先輩看護師・同僚・教員等から受けたメンタリング機能に焦点をあて、半構成的インタビューにより明らかにすることである。メンタリング機能とは、経験豊かな成熟者が発展途上にある未成熟者のキャリア発達を促進する機能（Klam, K. E.）で、「キャリア機能」と「心理・社会的機能」がある。メンタリング機能は新人看護師の職業継続に影響しており、メンタリング機能を活用したシステムの開発によって、キャリア初期での離職を減らし看護師不足を解消するとともに、看護師のキャリア発達に貢献できる。

研究方法

1. 対象者

初めて病院施設に就業した新人看護師（就職後半年～3年以内）2名

2. データ収集方法

新人看護師に対し、職業継続につながったメンタリング機能について半構成的面接によるインタビューを行う。

3. 質問内容

- ・属性（年齢、性別、経験年数、所属、卒業した基礎教育課程等）
- ・就職動機
- ・就職に際して基礎教育機関から受けたメンタリングによる支援（「キャリア機能」＝就職ガイダンス、就職試験面接の訓練、履歴書作成等 「心理・社会的機能」＝就職相談 情緒的支援等）
- ・就職後に上司先輩同僚から受けたメンタリングによる支援（「キャリア機能」＝臨床研修での教育、役割の付与 プリセプター制度等 「心理・社会的機能」＝情緒的支援等）
- ・職業継続が困難な経験の有無とどう対処したか
- ・職業継続意思の有無
- ・特定のメンターの有無 等である。

4. 分析方法

ICレコーダーにインタビューでの語りを録音し逐語録としてデータ化し、SCAT（Steps for Coding and Theorization）法を用いて分析した。SCATとは、大谷尚によって開発された質的研究方法であり、比較的小規模の質的データ分析に有効とされ、明示的定式的な手続きを有する点が特徴である。逐語録を読み込み、セグメント化し、①データの中の着目すべき語句 ②それを言い換えるためのデータ外の語句 ③それを説明するための語句 ④そこから浮き上がるテーマ・構成概念 の順にコードを付す4ステップのコーディングを行い、④を紡いでストーリーラインを記述し、そこから理論を記述する分析方法である（大谷尚：4ステップコーディングによる質的データ分析手法 SCATの提案 一着手し

やすく小規模データにも適用可能な理論化の手続き一）。研究者自身によるコードの検討を行い、研究方法に精通したスーパーバイザーに指導を受け、信憑性を高めた。

5. 倫理的配慮

研究を実施する病院施設の看護部長および所属責任者に対して、事前に研究計画を説明し文書で承諾書を得た。その上で研究対象者に研究計画について説明し文書で承諾書を得た。インタビュー内容は対象者の個人的経験を伺うものであり、研究参加は任意でありいつでも撤回や辞退ができること、話したくないことは拒否できることについて説明した。研究中の個人データはネットに接続しない専用のPCで扱い、レコーダー等は研究実施責任者研究室の施錠した棚で保管、データ分析後録音内容はすみやかに消去し安全な方法で廃棄することを説明した。

結果

対象者2名はいずれも就職1年目の20歳代前半の女性看護師であった。

新人看護師の就職前後のメンタリング機能を受けた経験としてのストーリーラインは以下のとおりである。

就職に際して教員から紹介や相談に乗る等のサポートを得、就職病院決定への後押しを受けていた。就職決定には奨学金返済免除という経済的理由が大きく、また「奨学金返済のあるあいだは辞めない」という職業継続への動機にもなっていた。職場では経験不足やそれに伴う誤解、先輩の指導の厳しさから泣く経験をしていたが、新人の立場に共感しながら指導してくれる役職者の存在や、先輩看護師の長所を自分自身が認識することで気持ちを立て直して職業継続していた。自己の将来への目標は、「毎日の仕事をこなせることに精一杯」としか考えられず、あるいは結婚や留学といった漠然とした夢であり具体性はみられなかった。

考察

看護師の職業継続には組織や職業へのコミットメントやキャリア・アンカーが形成されることが重要である。しかし新人看護師はいずれもじゅうぶんに形成されておらず、日々の業務をこなすことに集中し、明確な目標がもてていないことが明らかになった。このことから、新人看護師の職業継続には、現場においてメンタリング「情緒的支援」機能によるサポートが職業継続支援として必要であることが示唆された。今後はインタビュー人数を増やし、さらに研究を継続する。